

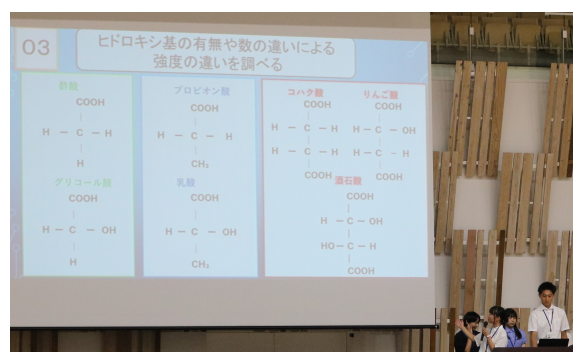
令和7年度 長岡高校スーパーサイエンスハイスクール

名 称	第13回 新潟県 SSH 生徒研究発表会 in Echigo-NAGAOKA
期 日	令和7年7月28日（月）
会 場	アオーレ長岡
対 象	県内外のSSH校、県内高校、及び中学校生徒
参加者	【参加生徒】新潟南高校、新発田高校、長岡高校、柏崎高校、高田高校（県内SSH事業実施5校）、富山県立富山中部高校（SSH事業実施校）、三条高校（WWL 事業実施校）、柏崎翔洋中等教育学校、新潟大学附属長岡中学校、長岡市立東中学校、長岡市立旭岡中学校、南魚沼市立六日町中学校。以上、12校802名。 【来賓】本校SSH運営指導委員5名にご臨席いただいた。 【その他参観者】参加校教員30名、一般・保護者による参観39名
目 的	県内外のSSH指定校や高等学校、さらに、近隣の中学校の生徒が一堂に会して、課題研究の発表や質疑応答による「研究発表交流」、及び参加生徒が協力して実技課題に取り組む「生徒交流会」を行い、SSH校の課題研究の改善につなげるとともに、参加各校生徒の相互交流により、協働的な課題解決力を育成する。また、会場の設営や進行を長岡高校の生徒が行うことにより、本校生徒の主体性および協働性を育成する。
内 容	■研究発表交流 「口頭発表」・・・5校5件 新潟南高校（英語）、新発田高校（日本語）、柏崎高校（英語）、高田高校（日本語）、長岡高校（日本語）の各代表グループによるステージ発表を行った。 「ポスターセッション」・・・7校116枚 参加した各校の研究グループが、ポスターで課題研究の成果を発表した。今年度は三条高校、長岡高校理数科のメディカルコース2年生の生徒もポスター発表を行った。ポスター発表校とポスター数は新潟南高校11枚、新発田高校24枚、柏崎高校4枚、高田高校24枚、三条高校1枚、長岡高校51枚、富山中部高校1枚。このうち英語発表ポスターは17枚であった。 ■生徒交流会 参加生徒全員を他校生徒と混合した5～6人のグループに分け、当日提示する実技課題に取り組ませる。与えられた条件下で、初めて出会うメンバーとの話合い、意見交換、試行錯誤などの協働作業により、よりよい解を探るという協働的な課題解決を経験する場として設けている。また、課題解決力やコミュニケーション能力の伸長を図ることも目的の一つである。今年度のテーマは「よく回る独楽（こま）」として、ケント紙と竹串のみで「逆さにした紙コップの上で回転させる。独楽の軸以外は紙コップに接触してはいけない。」という厳しい測定条件のもと、長時間回転できる独楽を作成し、その回転時間を競った。





口頭発表1



口頭発表2



ポスターセッション



生徒交流会

参加者の
主な
感想

<口頭発表について>

- どの研究も世の中の役に立ちそうな、興味深いテーマでした。ステージ上で堂々と発表していて、聞いていて楽しかったです。
- それぞれ自分たちの中で課題をもち、改善に向けて試行錯誤したことが伝わる発表でした。各研究への関心も高まりました。

<ポスターセッションについて>

- たくさんの方が自分達の発表を聞き、質問して下さったので、今まで研究してきてよかったなと感じました。他の人の発表を聞き、新しい知識をたくさん身につけることができました。今日学んだことを家族にも伝えようと思いました。
- より近くで発表を聞くことができ学びを深められたと思います。特に自分の興味のあるテーマの発表を聞くことができ、楽しかったです。英語での発表や意見交換も間近で見れて刺激になりました。

<生徒交流会について>

- 初対面の人と一つのテーマに向かって取り組むことが楽しかった。行動力の高さを見習いたいと思った。
- 他校で同じように頑張っている人と話せて、やる気につながった。

<全体を通して>

(参加教員・一般参観者・保護者の感想より)

- 来年も是非参加したいです。とても面白かったです。
- メディカルコースの生徒達は医療の問題を的確に捉え感心しました。
- 科学に関心のある中学生が多く参加できたら素敵ですね。